



「笑顔とつながり」

永田台

ユネスコスクール11周年

No.552 12月号
横浜市立永田台小学校
TEL(714)4277
令和3年11月30日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに



楽しさは、自分で創る

校長 武山 朋子

11月22日(月)曇天のもと、6年生の鎌倉修学遠足を実施しました。ずっと晴れていたのに、この日は前日からの雨の予報であったため、担任と私たちは安全に実施するためにできる限りの準備をし、それでも内心ドキドキしながら当日を迎えました。でも、そんな心配をよそに登校時に雨はなく、鎌倉に抜けるハイキングコースも心配したようなぬかるみは全くありませんでした。散策中に少し雨にあたった程度で、楽しみにしていた小町通でのお買い物タイムには、青空が顔をのぞかせました。

この日、出発式で私は、6年生の子どもたちにこんな話をしました。
「お天気が悪くて残念に思っている人は多いよね。でも、そのことで『ああ、残念、つまらないな』と思わないでほしいのです。『楽しさ』は、誰かに与えてもらうものではありません。自分で創るものです。みんながこれまでいろいろなことに取り組んできた力と、確かな絆で、この鎌倉修学遠足で楽しさを創ってくれることを期待しています。」

子どもたちは見事に楽しんでくれました。チームで笑い合いながら歩き、時間を見て予定コースを相談しながら変更し、おしゃべりはしないけれども笑みを交わしながらお弁当を食べ、家族のことを思い浮かべながらお土産を選び、そしてバスの中でも大いに盛り上がりました。

グループ活動の安全確保にご協力いただいた保護者の方に、
「親としては、泊りの修学旅行に行かせてあげたいと思うんですが、子どもは日帰りでもすごく楽しんでるんですよ。」

というお話を伺いました。多くの保護者の方が、もっともっと楽しい行事を満喫させてやりたい、思い切り自由に楽しませてやりたい、そして、その子どもの姿をそばで見たい、と切に思われていることはよく分かります。様々なことをずっとずっと我慢をしてきましたから、それは当然のことです。わたしたちも、子どもたちの輝く姿をじかに見ることがなかなかできなくて、残念でなりません。

でも、多くの保護者の方にご理解とご協力をいただいて、気を緩めることなく日々の健康観察や消毒を続ける中で、運動会も、それぞれの学年の遠足や校外学習も、本物に触れる体験や他校や園との交流も、実現することができました。教室では、久しぶりに歌声が聞こえるようになりました。人数を半分ずつに分けて、調理実習も再開です。

実際にその場に行く、実際に自分がする、実際に自分が見て聞いて触れて感じたり考えたりする、そんな「リアル」な体験は、子どもの豊かな学びには欠かせません。少しでもそこから『楽しさ』を子どもたちが創り出せるよう、第6波の来ない年明けを願っています。

